



HPにカラー版を掲載しています  
(毎月1日更新)

## ●水稲の管理

### ◆ 圃場の準備

#### 代かきについて

代かきは、土を細かくして田面を均平にする作業です。苗の活着向上や除草剤効果の安定につながります

#### 荒代かき(1回目)

##### 【ロータリー】

- ・土を砕いて混ぜる
- ・わらや有機物をすき込む
- ・**極浅水**で移植5~7日前目安



代かき前の入水量  
土が7~8割  
水が2~3割見える状態

#### 本代かき(2回目)

##### 【ドライブハロー等】

- ・田面を平らにする
- ・**ゆっくり丁寧に!**
- ・移植2~3日前目安
- ※粘土質土壌は3~4日前



### 地力向上のため、麦わらはすきこみましょう

- ① 麦わらを**15cm以上の長めにカット**：代かき時の麦わらの浮き上がり防止
- ② 荒おこしは、**早めの時期に深く耕す**
- ③ 代かきは**極浅水**で丁寧に行う：麦わらが土壌に混和されやすくなる

### ◆ 初期除草剤の効かせ方

天気予報をみて散布しましょう

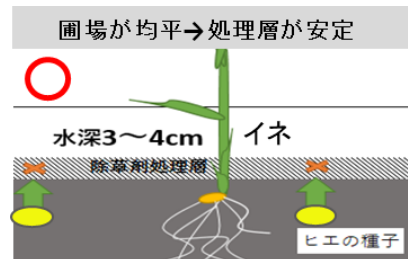
※散布後の大雨はオーバーフローの原因に

#### ① 漏水防止対策

- ・畔塗りや穴をふさぐ等の対策を行ってください

#### ② 田面の凹凸がないように均平に整える

- ・代かきを丁寧にしっかり行いましょう(上記参考)。
- ・ドライブハロー等を活用し土壌表面が均平にすると、安定した処理層が形成され**除草剤効果が高くなります**。

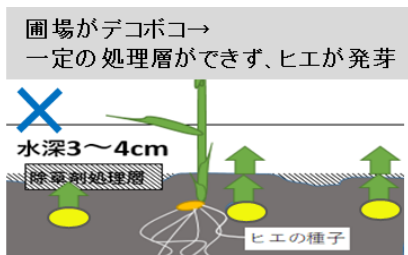


#### ③ 除草剤処理後3~5日は湛水深3~5cmに(ジャンボ剤使用時は水深5~6cm)

- ・水の出入りを止め湛水状態で均一に散布。

#### ④ 7日間は落水・かけ流し厳禁!

- ・水を動かすと除草剤の効果が低下します。
- ・環境保全のため薬効が切れてから落水しましょう。



### 除草剤の使用時期の目安

★水田内で**最も生育の進んだノビエの葉齢**が目安。



種類	使用適期(例)
初・中期一発剤	移植直後または活着後~移植後20日後位 (ノビエ2.5葉期頃まで)
中・後期剤	移植後20~25日位(ノビエ2.5~3.5葉期頃まで) ※体系処理で使う

使用前はラベルをよく読み、使用時期・使用方法を守って散布しましょう

### 注意

以下の稲品種には、特定の除草剤が使えません!

「みなちから」「タカナリ」「モミロマン」「やまだわら」「オオナリ」「ミズホチカラ」「笑みたわわ」等特定の除草成分(ベンゾピシクロン、メソトリオン、テフリルトリオン)で薬害が起き、白化して枯死する場合があります。上記の品種の栽培において、これらの成分を含む除草剤は使用しないでください。

←農研機構のHPで詳細をご確認ください



## ●大豆の管理

「ちくしB5号」の播種は、6月下旬～7月上旬が最も適した時期です。晴れ間を狙ってすぐに播種ができるよう、早め早めの準備を行いましょう。**適期に播種ができるかどうか**で、大豆の収量と品質を大きく左右します。

### ◆ 圃場の準備

#### 麦後にも再度排水対策の確認を！

大豆は湿害に弱く、排水不良は収量ダウンの原因に。

★ **播種前にチェックしておきましょう！**

- 暗渠・明渠は詰まっていないか
- 周囲の排水路は機能しているか

**適期播種のためにも排水対策は非常に重要です。**  
いま一度**額縁排水と暗渠の確認**をお願いします。

### 根粒菌を働かせる土づくり

#### ① 石灰質資材でのpH調整（最適pH：6.0～6.5）

- ・ 土壌pHが低いと収量低下につながります。
- ・ 土壌診断等によりpHを確認し石灰質資材で調整しましょう（右表）。

#### ② 肥料について

- ・ やせ地や連作田では基肥を施用しましょう。

### ◆ 種子消毒について

ネキリムシ類やフタスジヒメハムシ、莖疫病等の病害虫を防除するため種子消毒は必ず行いましょう。（例：クルーザーMAXX）

### ◆ 播種の準備・播種後の管理

#### 耕起について

- ・ 耕起深度は15cm以上を確保
- ・ 砕土率は70%程度を目標に調製(速度・回転数)  
→ 苗立ちが安定し出芽が揃いやすくなる。  
→ 安定した除草剤処理層が形成される。

#### 播種前の耕起はタイミングが重要

**耕起は播種直前に行い、速やかに播種しましょう。**

耕起後に雨が降ると土が乾きにくく、播種遅れの原因になります。

※ 雑草が多い場合、播種前に**非選択性茎葉処理剤**を散布しましょう。水稻への飛散には要注意！！

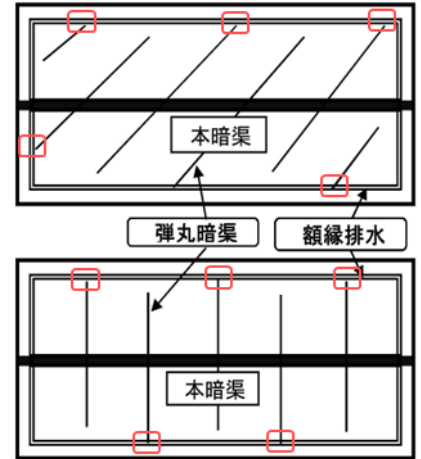
乾燥した日が続く場合は、シートパイプの栓を締めましょう。

→ 土壌水分の流出を防ぎ、乾燥ストレスを防止します

※ 大豆は湿害にも弱いため、天候に応じて本暗渠を開閉しましょう。

農業情報メール配信受付メールアドレス：[syuraku-hokubu@pref.oita.jp](mailto:syuraku-hokubu@pref.oita.jp)

### 【排水対策の施工例】



※ 弾丸暗渠は額縁の排水溝につないでください。

【資材・肥料の施用量の目安(10aあたり)】

項目	資材名		土壌pH	
			< pH5.0	< pH5.5
石灰質資材	苦土石灰		140kg	70kg
	地力高	レコアアップ 5-10-20	20kg	
基肥	地力低	化成肥料 12-18-14	20kg	



砕土率70%程度の大豆の生育状況

出芽・苗立ちが安定し、揃いが良くなるとともに除草効果も高くなる。